

ふれあいネットワーク

平成27年度

事業報告書 . . . P 1 ~ P 1 1

一般会計決算書 . . . P 1 2 ~ P 1 9

平成28年3月

社会福祉法人 昭和町社会福祉協議会

広げよう一人一人の思いやり

平成27年度 昭和町社会福祉協議会事業報告書

昭和町社会福祉協議会は、地域住民の方や地域の組織・団体の方、社会福祉施設等の福祉関係者の参加・協力のもと地域の方々が住み慣れたまちで安心して生活することができる「福祉のまちづくり」の実現に向け活動しています。

平成27年度も、「思いやり、支えあい、心をつなぐ福祉の輪」を基本目標に地域の福祉力を高めるため地域参加の機会づくりを進めるとともに協働による様々な取り組みや活動を支援して参りました。

1. 交流と社会参加の機会創出

1) 高齢者の交流機会の充実

高齢者の社会的孤立やひきこもりを防止し、地域の人々と交流しながらいきがいを持って暮らせる地域づくりを推進しました。

(1) いきいき・ふれあいサロンの充実

町内全地区に設置されている「いきいき・ふれあいサロン」の更なる充実に努めて参りました。

① 見守りネットワークづくりの推進

高齢者・障がい者・児童が地域で安心して暮らすことができるよう地域住民や事業者等の協力による見守りネットワークをPRし、また、区の組織、民生委員・児童委員、高齢者組織、登録ヘルパーなどを中心に活動しました。

② いきいき・ふれあいサロンへの助成及び活動支援（町受託・共同募金配分金事業）

多くの高齢者のいきがいと健康づくり、社会的孤立から守るなど「自主的な仲間づくり」につながるよう、いきいき・ふれあいサロンに対し支援しました。

(2) 交流機会、外出機会づくりの推進

一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯を中心に、地域の人達とふれあう機会と交流に努めました。

① ふれあいランチ事業

一人暮らしの高齢者、障がい者等を対象に、ボランティアグループ及び社協理事の協力の下に、レクリエーションや会食等を開催しました。季節の交流広場事業として4月に「お花見ふれあいランチ」、7月には「夏だ！祭りだ！ふれあいランチ」、12月には「クリスマスふれあいランチ」を開催し、参加者相互の交流を積極的に進めました。

（参加者延人数 393人）

② 配食サービス事業の推進（町受託）

一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯及び身体障がい者であって心身の障がい及び傷病等の理由により調理することが困難な方を対象に、健康で自立した生活が送れるように食事援助を行い、併せて登録ヘルパーによる安否確認を行いました。

配食数 2, 678食（安否確認 2, 473食）、利用実人員 36人

③ 友愛訪問事業の推進（町受託）

登録ヘルパーや町いきがいクラブ会員による一人暮らし高齢者世帯に対する安否確認により、ひきこもりや孤立を防止し在宅福祉、地域福祉の充実に努めました。

④ 軽度生活援助事業の推進（町受託）

登録ヘルパーにより、在宅の高齢者世帯等を対象として、家事援助等より細やかなサービスを提供しました。

（稼働時間 630時間）

⑤ 外出支援サービスの推進（町受託）

毎週火曜・木曜に総合会館の温泉利用者のため、福祉バスに登録ヘルパーが同乗し、外出の支援をしました。

（利用者延べ 553人）

（3）いきがいづくりの推進

生涯学習、生涯スポーツの各種事業と連携しながら、高齢者のいきがいづくりや社会参加の自主活動の支援をしてきました。

① いきがいクラブ活動等支援事業及び社会参加の促進

高齢者自らのいきがい対策の一環として、いきがいクラブ活動やいきがい大学活動に対して支援を行いました。また、各専門部の自主的な活動に助成し、併せて、高齢者自身の社会奉仕活動や、高齢者同士の友愛訪問活動等へも支援しました。

2）多世代交流、ふれあい機会の創出

世代や障がいの有無にかかわらず、すべての住民が同じ地域の一員としてふれあう機会の創出と福祉意識の啓発に努めました。

① 障がい者、児童、母子福祉活動の推進

障がい者団体や、母子福祉団体等の自主的活動に対して助成しました。

◇ 障がい者福祉会活動へ助成 （助成金額50,000円）

◇ 母子寡婦福祉会活動へ助成 （助成金額50,000円）

② 親子ふれあい事業（共同募金配分金事業）

「親子ふれあいマス釣り大会」を紙漉阿原 今川を会場に、親子の交流と絆を深め、親子ぐるみの交流のきっかけとなることを目的に実施しました。当日は天候にも恵まれ、町内各小学校の児童及び保護者など約240名の参加がありました。

③ 障がい児スクール事業

心身障がい児者親の会ひばり会が実施する障がい児のための「ひばり会余暇活動」等への支援をしました。

④ 福祉まつりの実施

高齢者、障がい者、母子父子家庭の皆さんを対象に社協理事、民生委員・児童委員、ボランティアグループ等の協力の下、「共に参加する協働のまつり」をテーマに、交流と福祉活動への理解を深める事業として実施しました。福祉標語・ポスターの入選者表彰、アトラクションとして舞踊、演舞の他、甲府昭和高校 吹奏楽部・箏曲部の皆さんをお迎えし、素晴らしい演奏を披露していただきました。

(参加人数約 380名)

3) 健康づくり

住み慣れた地域でいつまでも健康に暮らし続けられるよう、体と心の健康の維持・増進を目的として、高齢者の健康づくり事業を推進しました。

① 健康・いきがいくりの支援

「自分の健康は自分で守る」という意識を持つことの大切さを住民に浸透させるとともに、地域の健康づくり活動を支援しました。また、誰もが心豊かにいきがいを持っていくと過ごせるよう、趣味の仲間づくりなどのいきがいくりを支援しました。

② 高齢者軽スポーツの普及

高齢者の体と心の健康維持・増進を目的として、福祉ゲートボール大会・ペタンク大会等を実施しました。また、2月下旬にいきがいクラブ会員及び60歳以上の町民を対象とした「福祉軽スポーツ親善交流会」を開催し、室内軽スポーツの普及に努めました。

(参加人数 332人)

③ 運動指導事業の推進（町受託事業）

運動機能の向上を図るとともに、寝たきりなどの要介護状態になることを予防することを目的とし、健康体操教室を実施しました。 (参加延人数 719人)

④ 高齢者ふれあい事業の推進（町受託事業）

高齢者相互の親睦と、ふれあいを広げるとともに、地域社会に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、気軽に参加できる「読み聞かせ・足裏健康体操・音楽療法・ストレッチ・3B体操」など様々な教室の実施や、介護保険対象外の虚弱高齢者等を対象に自宅から総合会館との送迎サービスを実施しました。

教室参加延人数 1, 129人

送迎サービス利用者延人数 161人

2. 地域福祉についての啓発・情報提供の充実

1) 情報提供体制の整備

インターネットや広報紙、組回覧、ボランティアボード、イベント現場等、様々な場所や情報形態で、地域活動やボランティア活動の情報を提供し、地域福祉に対する住民の理解や認識を深めるとともに、社協や社協活動の広報活動に努めました。

① ホームページの充実

事業の内容・予定等を随時更新し、町民の各事業への自発的な参加及び協力を呼びかけるなど、常に新しい情報を提供しました。

② 社協だより

社協活動や、ボランティア活動等を、より身近に知ってもらうため、毎月発行の「広報しょうわ」の社協だより「まごころ」欄を通し、事業の開催や各種団体等の活動状況などの告知とともに、社会福祉活動への理解を深めていただけるよう努めました。

③ ボランティアだよりの発行（共同募金配分金事業）

ボランティアだより（定期発行 年2回・臨時号 年1回発行）を通じ、地域のボランティア活動を紹介し、ボランティア活動への理解と関心を深めていただけるよう努めました。

④ 情報ネットワークの推進

理事・評議員をはじめ、区長会、民生委員・児童委員、ボランティア団体、いきがいクラブ、障がい者団体、母子寡婦福祉会、日赤、結婚相談所などの団体を通じて情報発信し、町民の社会参加を促進しました。

⑤ ボランティアボード設置推進

ボランティア募集、環境情報、イベント情報、講座・講演情報、助成金・寄付金等の情報、国際交流・災害支援情報に加え、身近な地域の情報を掲示し、ボランティア活動の情報を提供するボランティアボードを活用しました。ボランティアセンター、昭和町総合会館1階フロアと清水新居区公民館の3か所に設置しています。

2) 福祉教育の推進

児童・生徒に向けて福祉やボランティア活動に対する理解と関心を高めるため、次の事業を実施し、次代の地域福祉活動を担う人材の育成を目指しました。

① 学校ボランティア活動推進（福祉協力校の指定）

町内小・中・高校の児童・生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に、福祉教育・学習の機会を提供し、体験や交流活動を通して福祉の心を育てました。

② 福祉教育の推進（共同募金配分金事業）

町内の小中学生を対象にボランティア活動や福祉に関心を持ってもらうことを目的に「小・中学生福祉標語・ポスター募集事業」を行い、「福祉まつり」で表彰しました。

（応募総数：標語の部 530点、ポスターの部 60点）

3）ボランティア活動の育成支援

ボランティアの各種団体やボランティア活動の一層の充実に向けて、研修に対する助成や学習会の開催支援、先進地事例の収集・提供など、ボランティア活動の育成と支援に努めました。

① ボランティア活動推進事業

健康づくりやいきがづくり等を支えるボランティアの確保に努めると同時に、ボランティア育成のための研修会、昭和町民とボランティアのつどい、また、富士宮市社会福祉協議会への視察研修を行いました。

② 義援金の受付業務（日本赤十字社・共同募金会）

③ 福祉活動学習会講師派遣

地域住民が福祉に対する理解を深めるための学習会等に対して助成をする事業です。

3. 地域福祉の推進

1）地域の活動基盤の充実

地域で安心して暮らし続けるためには、日々の生活での問題や困り事が気軽に解決できる近隣環境が重要になります。地域単位での福祉活動の基盤となる組織づくりや保健・医療・福祉の連携、行政や各種団体等との連携を進めました。

① 支部社協活動の推進

地域福祉推進の中核組織として、支部社協を中心に、区・ボランティア等の協力により要援護者の援助や高齢者、障がい者等の自立と社会参加を推進しました。

② 青少年育成昭和町民会議（町事業）

たくましい青少年を育成するため、家庭・学校・地域がその役割を明確にし、青少年一人ひとりの人間形成に努め、積極的に参画しました。

2）ボランティア活動の充実

地域の助け合い、支え合いを主体となって進めるボランティアへの支援や様々な取り組みを行う団体や組織、個人の連携を促す交流機会の充実や学習機会の創出に努め、「共に生きる社会の実現」を目指してボランティア活動の充実を支援しました。

① ボランティア連絡協議会運営支援

ボランティア連絡協議会が中心となり、研修会・講習会・情報交換会等の開催を通じ、ボランティア活動の推進を図りました。

② ボランティア活動事業への助成

町民の主体的参加と地域連帯に基づき相互に支え合う福祉型まちづくりの実現に資するため、各種活動を実践する民間ボランティアを育成、支援することにより善意活動に取り組みやすい環境づくりを目指しました。

③ 昭和町民とボランティアのつどいの開催（共同募金配分金事業）

「広げよう ひとりひとりの助け合いの輪」をテーマに「昭和町民とボランティアのつどい」を開催しました。

（参加人数約 190人）

④ ボランティアに関する各種研修

ボランティア活動に必要な技術や知識などの習得のために先進地視察や各種研修会に参加しました。

⑤ 地域ボランティアサロンコーディネーター講習会の開催

健康づくりといきがいづくり等を支えるボランティア確保のための講習会を開催し、ボランティア活動の推進を図りました。

⑥ 町ボランティア・地域住民活動センター（Vセンター）の運営管理

ボランティア活動の拠点として「いつでも・誰でも」利用できるよう適切な管理運営に努めました。

⑦ ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任を補償、また地域福祉活動などの行事におけるケガや賠償責任の補償など安心安全にボランティア活動を行っていたため保険の取り扱いをしました。

⑧ フードバンク山梨との連携

年2回フードドライブへの協力を行い、食品募集を行い、集まった食品は生活困窮者などにフードバンク山梨より届けられました。

（本町への食品配送支援 8件、緊急支援 12件）

⑨ みんなで地域を良くする事業（共同募金配分金事業）

地域のボランティア活動を更に充実したものにするため、ボランティア活動や、いきいきふれあいサロン等に使用する遊具やボランティアイベント用の横断幕を購入しました。

⑩ 安心・安全なまちづくり事業（共同募金配分金事業）

近い将来必ず発生すると言われてしている東海地震を想定し、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施する為の備品、ボランティア用ヘルメット、カセットガスヒーターを購入しました。（平成27年10月：災害ボランティアセンター設置運営訓練）

⑪ 地域福祉活動推進事業（共同募金配分金事業）

災害に備え、災害ボランティアセンターを立ち上げるための倉庫・備品（リヤカー・発電機等）を整備しました。

⑫ 昭和町ふるさとふれあい祭りへの参画（町事業）

「昭和町ふるさとふれあい祭り」に参画し、ボランティアバザー等の出展を通して、地域住民とのふれあいを深めました。

3) 新しいボランティア活動の創出

地域の福祉ニーズをくみ取り、気軽に参加できるボランティア活動や災害時等の緊急時の助け合い、支え合いのボランティア活動、いきがいや社会参加に重きをおいたボランティア活動など時代の流れに応じた新しいボランティア活動づくりに取り組みました。

① ボランティア登録制度の運営・推進(ボランティア人材バンク)

地域の知識や技能を有する人材を発掘・活用することにより、種々多様なボランティア活動の推進を図りました。

(17件)

4. 社協組織の充実

1) 低所得者等福祉・日常生活自立支援事業への取り組み

経済的に困窮している人たちや、東日本大震災により被災した世帯への生活資金の貸付業務や相談業務、また、世帯人員が判断能力の不十分な場合、その家族・親族等の援助余力の低下に対応した日常生活自立支援事業（権利擁護事業）や成年後見人制度への対応業務などに取り組みました。

① 生活福祉資金（総合支援資金）貸付制度の運営委託業務

低所得・障がい者・高齢者世帯・離職等により日常生活に困難を抱えている世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長促進を図ることを目的とした県社協の受託事業で、民生委員の協力により窓口業務を行いました。

(相談件数 12件、貸付決定件数 0件)

② 臨時特例つなぎ資金貸付制度の運営委託業務

離職などに伴い、住居を喪失し、その後の生活維持が困難である方に対し、継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金の貸付を行う業務です。

(相談件数 0件、貸付決定件数 0件)

③ 生活復興支援資金

東日本大震災により被災した低所得世帯（被災したことにより低所得世帯になった場合も含む）に当面の生活に必要な資金の貸付を行う業務です。

(相談件数 0件、貸付決定件数 0件)

④ 福祉金庫貸付事業の実施

町内在住の方で、急な出費への対応でお困りの方に、無利子で小口の福祉金庫（最高5万円）の貸付業務を行いました。 （貸付件数 1件）

⑤ 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の推進

認知症高齢者、知的、精神障がいのある方等で、自己決定能力が低下しているために様々なサービスを適切に利用することや金銭管理がうまくできない方等に日常的な生活、金銭管理のサポートをしてきました。 （利用世帯 4件）

⑥ 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用に係る申し立てに要する経費や成年後見人等の報酬の助成を行う事業です。 （実績 0件）

⑦ 生活福祉緊急援助（米券給付）事業

主に生活保護受給世帯に準ずる世帯で、緊急一時的な援助を必要とする場合に、米券を給付する事業です。 （支援世帯 0件）

2) 相談事業の充実

日々の生活で生じる様々な困り事や不安などを抱え込むことがないように、気軽に相談できる窓口運営に努めるとともに、関係機関と連携し問題の解決へとつながるよう努めました。

① 心配ごと相談業務の推進

町民の悩みごとに対応し身近な場所で気軽に相談できる体制を整えるとともに、相談後のフォロー体制の強化にも努めました。また、相談員による適切な助言・指導を実施しました。 （相談件数 2件、相談内容：家族、離婚、生計、住宅）

② 結婚相談事業の推進

結婚を希望する男女の登録制度を設け、未婚者の「出会いの場」を提供、相談員のサポートによる結婚相手の紹介や相談体制を充実し結婚の支援を図り、未婚者の出会いを取り巻く環境整備に努めました。

（登録男性 87名、女性 50名（町内者12名、町外者125名）、紹介件数655件）

③ 生活困窮者自立相談支援事業の推進

山梨県社会福祉協議会が実施している生活困窮者自立相談支援事業の相談窓口として生活困窮者の自立支援プランの作成への支援に努めました。

3) 社協体制の強化

支援を必要とする人、支援を提供する人の相互の立場と権利を尊重しつつ、質の高い福祉サービスの提供体制をつくとともに、様々なニーズに柔軟に対応できる組織体制の充

実に努めました。

① 社会福祉協議会活動の充実強化

民間組織としての特性を活かし、地域のニーズ、地域福祉の課題に順応できる体制を強化するための組織づくりを進めました。

② 職員体制の整備

質の高い福祉サービス提供をしていくため職員体制の整備を進めました。

③ 職員研修の充実

職員の資質向上や技術の習得等を目的に各種研修会に参加しました。

④ 事務の合理化の推進

社協業務がより効率的に遂行されるよう新会計システムの導入、給与支払方法の変更など事務の合理化に努めました。

4) 施設・事務局運営の整備・充実

総合会館施設の効率的な管理・運営体制、所管する団体事務局の運営支援に努めました。

① 理事会、評議員会の開催

社協の予算、決算、事業計画、事業報告、その他業務に関する重要案件を審議するため理事会、評議員会を開催しました。

② 総合会館内設備の管理業務

総合会館内の機械設備の点検・清掃等の管理を実施しました。

③ 「働く婦人の家」の貸し出し業務

総合会館内「働く婦人の家」の利用・貸し出し業務を実施しました。

④ 老人福祉センターの温泉施設の管理運営業務

温泉施設の安全確保や町内在住の方を限定とする入浴者等の衛生管理に努め、入浴券販売の業務、利用者調査等を実施しました。

⑤ 福祉車両の貸出事業

生活上の支援を必要とする高齢者や障がい者等へ車椅子のまま乗れる自動車の貸し出し業務を行いました。

(貸出件数 60件)

⑥ 昭和町遺族会事務局

遺族会の各種事業の推進及び支援しました。

⑦ 昭和町いきがいクラブ連合会事務局

昭和町いきがいクラブ連合会の活動を支援し自主運営組織として活動できるよう支援しました。

⑧ 日本赤十字社昭和町分区事務局

赤十字活動の支援、社員増強運動を実施しました。平成27年度には、新規事業として

昭和町赤十字奉仕団との共催事業として「青少年赤十字推進事業」を実施しました。

⑨ 昭和町赤十字奉仕団事務局

団員の研修や訓練、また地域のボランティア活動などに参加するための総合的なサポートをしました。

⑩ 昭和町ボランティア連絡協議会事務局

ボランティアグループ同士の結びつきを強め、お互いのグループの情報交換を行いボランティア活動が円滑に活動しやすい環境づくりのサポートをしました。

⑪ 昭和町結婚相談所

結婚を望む男女に出会いの場を提供するため、相談事業の運営に努めました。

⑫ 障がい者福祉会事務局

障がい者福祉会の各種事業の推進及び支援をしました。

⑬ 母子寡婦福祉会事務局

母子寡婦福祉会の各種事業の推進及び支援をしました。

⑭ 備品等貸出事業

高齢者や障がい者等の社会参加の推進を図ることを目的に、要綱に基づき社協が所有する備品（日赤釜、車椅子、テント、軽スポーツ用具）等を貸し出しました。

⑮ 共同募金会昭和町分会事務局

共同募金について積極的に住民に情報の提供を行うとともに、共同募金活動を展開しました。

⑯ 支部社会福祉協議会事務局

区長はじめ区役員、民生委員、関係団体、ボランティア等、地域住民が一体となった地域福祉活動の推進に対し支援しました。

5) 自主財源の確保

民間団体として独立性を高めていくため、社協会員の確保や共同募金運動、日本赤十字社社費の拡大等を図り、自主財源の確保に努めました。

① 共同募金活動（情報公開）の実施

町民、各区役員、民協、社協関係者及び各企業の協力により共同募金活動を実施しました。また、広報紙、ホームページを通じ、住民に情報提供してきました。

② 赤十字社員増強運動の実施

各種赤十字活動の充実及び各地区への活動支援のため、社費の拡大に努めました。

（社費：個人社員や法人社員が納める年間500円以上の活動資金）

③ 社協会員の拡大

個人会費は1口800円。団体会費は1口2,000円、特別会員1口1,000円以上を基本に依頼し自主財源の確保のため、会員の拡大に努めました。

別 紙

平成 27 年度の各地区サロン実施状況

地区	会員数	開催回数	参加者 延人数	活動内容	実施場 所
西条一区	30 人	9 回	306 人	社会見学、手芸、お楽しみ会、 健康づくり教室等	公会堂 他
西条二区	60 人	6 回	290 人	ふるさと祭り交流、子供との交流、 お楽しみ会、健康づくり教室等	公会堂 他
清水新居	49 人	11 回	539 人	レク、社会見学、子供との交流、 健康づくり教室、お楽しみ会等	公会堂 他
西条新田	32 人	10 回	290 人	手芸、健康づくり教室、お楽しみ会等	公会堂 他
押 越	38 人	11 回	305 人	福祉のつどい、園児との交流、手芸教室、 健康づくり教室、お楽しみ会等	公会堂 他
河東中島	60 人	6 回	260 人	園児との交流、お花見、お楽しみ会等	公会堂 他
紙漉阿原	29 人	6 回	210 人	お花見、鑑賞会、健康づくり教室、 食事会、お楽しみ会等	公会堂 他
築地新居	49 人	5 回	135 人	健康づくり教室、お楽しみ会、鑑賞会等	公会堂 他
飯 喰	43 人	5 回	200 人	お茶会、社会見学、お楽しみ会、 健康づくり教室等	公会堂 他
河 西	40 人	12 回	510 人	手芸、子供との交流、健康づくり教室、 お楽しみ会等	公会堂 他
上河東	41 人	12 回	448 人	お花見、手芸、子供との交流、 お楽しみ会、健康づくり教室、社会見学 等	公会堂 他
上河東二区	42 人	13 回	390 人	お花見、子供との交流、健康づくり教室、 お楽しみ会等	公会堂 他

※平成 27 年度ボランティア行事用保険より